

取締役会実効性評価結果について

当社は、2025年度における取締役会の実効性に関する評価を実施しました。その結果の概要は以下のとおりです。

【取締役会評価実施内容】

評価者	全取締役(13名)
実施方法	対象者に対するアンケートとコーポレートガバナンス委員会による個別ヒアリング ※アンケートについては第三者機関への委託により実施。
質問内容	①取締役会の構成 ②取締役会の議題 ③取締役会の資料、④取締役会の運営、 ⑤取締役への情報提供、⑥取締役での議論、⑦取締役会のモニタリング機能、 ⑧取締役の相互評価、⑨その他
評価方法	・ アンケートの集計結果及びヒアリング内容をもとに、コーポレートガバナンス委員会が取締役会へ実効性評価結果と実効性改善に向けた今後の方向性を提案。 ・ 取締役会において、評価結果のレビューと現状の課題を確認するとともに、実効性の更なる向上に向けた取組み等について議論し、今後の施策等について決議。

【評価結果の概要】

- ・ 当社は、取締役会の実効性について、継続的な向上が図られているものと評価しております。前年度の実効性評価においては、取締役会のモニタリング機能の強化に伴い、社外取締役への情報提供の更なる充実が課題として認識されました。
- ・ これを踏まえ、2025年度は年間議題の設定に加え、オフライン会議を活用し、大型投資案件に関する事前説明や議論の機会を拡充いたしました。その結果、投資の背景や関連する社内課題に対する理解が深化したとの意見が多く寄せられており、取締役会のモニタリングボードとしての機能は一層高まっていると評価しております。
- ・ また、これまでの実効性評価の蓄積を踏まえ、当社の取締役会は継続的な改善が進んでいると認識しております。2026年度においても、これらの取組みを継続し、更なる実効性向上に努めてまいります。
- ・ 特に、2026年度は次期中期経営計画の策定を見据え、企業価値向上に資する重要テーマについては、継続的かつ深度ある議論が必要と認識しており、「サステナビリティ経営会議」及び「オフライン会議」を活用した検討を引き続き推進してまいります。
- ・ さらに、複数の社外取締役の交代を踏まえ、新任取締役の理解促進を目的とした情報提供の充実にも取り組んでまいります。

【実効性向上に向けた今後の施策】

- ・ 中長期的な企業価値向上に向けた道筋の具体化について、年間で計画性のある議題設定を行い、議論を深めてまいります。
- ・ 取締役会の効率的な運営に向けて、運営改善に取り組んでまいります。

以上